

# 2025 年度 第 12 回柔道医科学研究会 演題・プログラム

【2025 年 12 月 20 日 土曜日】

◆ 開会の辞 13:30~13:35 会長 金淵一雄

■ A: 一般演題 13:40~14:20

座長: 立石 智彦 同愛記念病院

A-1 柔道におけるマウスガード装着による頭部外傷予防効果について (第2報)

Preventive effect of mouthguards on head injuries in Judo (2nd Report)

獨協医科大学 村山晴夫

A-2 高強度インターバルトレーニングによる運動能力向上効果に対する腸内有機酸プロファイルの影響

Impact of Fecal Organic Acid Profile on Athletic Performance Improvement Induced by High-Intensity Interval Training

社会医療法人蘇西厚生会まつなみリサーチパーク (医学研究所) 吉川智美

A-3 膝複合靭帯損傷に伴う腓骨神経麻痺に対し腱移行を行い柔道に復帰しえた一例

A case of returning to Judo after tendon transfer for peroneal nerve palsy with multiple ligament injury of the knee

弘前大学医学部医学科 5 年、弘前大学大学院医学研究科整形外科学講座 工藤壮太

A-4 「くいしばりで生じた顎関節症の 3 症例」

Three cases of temporomandibular joint disorder caused by clenching

岩手医科大学付属病院 麻酔科 水間謙三

◆ 会長講演: 14:25~14:55

座長: 三上靖夫 京都府立医科大学大学院医学研究科リハビリテーション医学

「柔道大会救護の経験と今後 (東海大学伊勢原柔道部の50年)」

The current situation and the future of the judo relief

(The 50-year History of Tokai University Ishara judo club)

田島橋クリニック・東海大学八王子病院 心臓血管外科 金淵一雄

◆ <シンポジウム> 15:05~16:20

「地方での柔道大会運営の現状: 大会救護・審判等」

座長: ① 金淵一雄 田島橋クリニック・東海大学八王子病院

② 宮崎誠司 東海大学体育学部武道学科

S-1 福岡県における 2024 年度柔道試合救護活動報告

Report on Medical Support Activities for Judo Competitions in Fukuoka Prefecture in 2024

公益社団法人 福岡県柔道整復師会 上田康妃

S-2 柔道競技大会 (第 47 回 Chiba Open Judo Cup) における救急体制と救護活動の取り組み

Medical Coverage in Practice at the Chiba Open Judo cup

国際武道大学体育学部体育学科 清水伸子

S-3 群馬県の柔道救護の現状とこれから

The current situation and the future of the judo relief of Gunma

上牧温泉病院 整形外科

岡田尚之

S-4 青森県の柔道救護体制

Current Status of Judo Tournament Management in Aomori

和田整形外科クリニック

和田誠之

S-5 岩手県で行われる柔道大会での救護の現状

Current Status of Judo Tournament Management in Iwate

岩手県柔道連盟 理事・岩手医科大学付属病院麻酔科

水間謙三

S-6 秋田県における柔道大会救護の現状

Current Status of Judo Tournament Management in Akita

秋田大学医学部付属病院 整形外科

浅香康人

S-7 柔道大会救護の現状と課題 -山形県の場合-

Current Status of Judo Tournament Management in Yamagata

社会医療法人みゆき会

武井 寛

S-8 北海道での柔道大会運営の現状：第75回全日本実業柔道団体対抗大会の経験を踏まえて

Current Status of Judo Tournament Management in Hokkaido:

Insights from the 75th All Japan Business Group Judo Team Competition

中村記念南病院 脳神経外科

大熊 理弘

■ B：指定演題（＝全日本柔道連盟医科学委員会研究報告） 16：30～17：00

座長： 和田誠之 和田整形外科クリニック

B-1 全日本柔道連盟公認転倒外傷予防指導員資格制度の創設と初期運用報告

Establishment and Initial Implementation Report of the All Japan Judo Federation Certified Fall Injury Prevention Instructor Qualification System

全日本柔道連盟公認転倒外傷予防指導員資格委員会、

山田 凌大

B-2 止血手技の課題は？ 講習会受講者へのアンケート調査

What Are the Challenges of Hemostasis Techniques? A Survey of Workshop Participants

九州医療センター

福士純一

B-3 2025年度研究進捗状況報告 柔道選手における耳介血腫の実態についてと打ち手の有効性について

2025 Research Progress Report: The situation of auricular hematoma in judo athletes and the effectiveness of uchite techniques

東海学園大学 教育学部

紙谷 武

【2025年 12月 21日 日曜日】 : 午前9時 受付開始

■ C: 指定演題 (医科学委員会研究報告): 9:20~9:35

座長: 柵山尚紀 東京大学医科学研究所附属病院 外科

C-1 中学生から社会人までの柔道家を対象とした絞技と落ちの意識調査: 精神的影響を含めて

A Survey of Judokas from Junior High School Students to Adults on their Awareness of Shime-waza and Unconsciousness: Including the Psychological Impact

天理大学大学院体育学研究科

神谷宣広

C-2 中学生の大会における絞技の使用禁止が高校生柔道選手の絞技経験に与えた影響

The Effect of the Prohibition of Shime-waza in Junior High School Judo Competitions on the Shime-waza Experience of High School Judo Athletes

久留米大学医療センター整形外科

木内正太郎

■ 基調講演: 9:40~ 10:20

座長; 金淵一雄 田島橋クリニック・東海大学八王子病院

頸部外傷の対策・予防「レスリング競技における頸部強化トレーニング法」

全日本学生レスリング連盟 会長 (神奈川大学 レスリング部監督) 吉本 収

■ 特別講演: 10:25~11:05

座長; 宮崎 誠司

東海大学体育学部武道学科

「柔道選手の肩関節障害」

東海大学医学部附属八王子病院副院長 整形外科教授

内山善康

■ D: 指定演題 (医科学委員会研究報告): 11:10~11:45

座長: 紙谷 武 東海学園大学 教育学部

D-1 全日本柔道連盟医科学委員会における救護講習会の効果の検討

Evaluation of the Effectiveness of the First-Aid Training Program Provided by the Medical and Science Committee of the All Japan Judo Federation

全日本柔道連盟医科学委員会・東京大学医科学研究所附属病院 外科

柵山尚紀

D-2 全日本柔道連盟におけるアンチ・ドーピング教育・啓発活動と

強化選手の薬剤・サプリメント使用実態調査システムの検討

Evaluation of the Anti-Doping Education and Awareness Activities and the Monitoring System for Medication and Supplement Use among Elite Athletes in the All Japan Judo Federation

全日本柔道連盟医科学委員会・東京大学医科学研究所附属病院 外科

柵山尚紀

### D-3 女子柔道選手における月経教育の現状と今後の課題

Current Status and Future Challenges of Menstrual Education for Female Judo Athletes

帝京平成大学健康医療スポーツ学部看護学科

寺崎綾音

### D-4 女性の生涯柔道環境改善に向けた経血漏れ対応方針の検討

Consideration of a Policy for Addressing Menstrual Blood Leakage to Improve the Lifetime Judo Environment for Women

日本体育大学保健医療学部

稲川郁子

◆ 閉会の辞 11:45～11:50

会長 金淵一雄

#### 演者・座長の方へ

●発表時間：時間がタイトですので時間厳守をお願いします。

- ・指定演題・一般演題 発表8分以内 討論2分
- ・他 指定時間（会長講演、基調講演、特別講演、シンポジウム）

#### ●口演発表

- ・発表形式はPCプレゼンテーション1面のみとします。
- ・発表方法は、USBでデータを持ち込み、備え付けWindows PCの利用を原則とします。
- ・動画を含める方、Macintoshをご使用の方は、御自身のPCをご持参することもできます。

その場合、講義室の標準設定を変更できない場合がありますのでご了承下さい。

- ・発表、討論は座長の指示に従って時間厳守をお願いします。
- ・担当セッション開始20分前までに会場前方に着席下さい。

★各発表者が直接USBをPCに差し込み、発表を始めて下さい。

#### ★PC動作確認

- ・場 所：講堂入口
- ・発表会場と同型のPCを用意します。休憩時間を利用して動作確認をお済ませ下さい。

#### ●座長の先生方へ

- ・円滑な進行をお願い致します。
- ・タイムキーパーに呼び鈴の時間をご確認下さい。

指定演題・一般演題：8分（1回目）、

- ・時間内に収まらない質疑応答は、休憩時間ならびに懇親会の場をご活用頂く様ご説明下さい。

#### ●研究会連絡先：

\*金淵 [kjudo.med@gmail.com](mailto:kjudo.med@gmail.com)（演題、プログラムに関すること）

関係者・希望者は奮ってご参加下さい！なお、事前参加登録が必要となります。

■会 場：学校法人 東北柔専「 仙台接骨医療専門学校 」（講堂・教室・柔道場）

〒112-0003 仙台市宮城野区福室3-4-16：陸前高砂駅2分（仙石線）\*仙台駅から15分